



2016年1月20日
ミニストップ株式会社
(証券コード 9946)

各位

店内イートインコーナーの内装に奈良県産優良木材を使用 ミニストップ京奈和三宅インター店開店のお知らせ

ミニストップ株式会社(本部:千葉県千葉市 代表取締役社長:宮下 直行、以下:ミニストップ)は、2011年3月に奈良県とイオン株式会社が締結した「連携と協力に関する包括協定」に基づき、店内イートインコーナーの内装に奈良県産優良木材を使用した「ミニストップ京奈和三宅インター店」を平成28年1月21日(木)に開店いたしますのでお知らせいたします。

奈良県とイオン株式会社は、2011年3月7日(月)奈良県における一層の地域の活性化および県民サービスの向上に向けて、相互の連携を強化することを目的に、「連携と協力に関する包括協定」を締結しております。イオングループのミニストップは、この包括協定に基づく「地産地消の推進」および、「環境問題に対する取り組み」の一環として、店内イートインコーナーの内装に奈良県産吉野杉を使用した「ミニストップ京奈和三宅インター店」を開店いたします。

ミニストップ京奈和三宅インター店 イートインコーナー(イメージ図)



<店舗概要>

- 開店日時:平成28年1月21日(木)午前7時 (24時間営業)
- 店名: ミニストップ京奈和三宅インター店
- 住所: 奈良県磯城郡三宅町大字伴堂341番地4
- 店舗特長:

店内イートインコーナーの壁およびテーブルや椅子にも奈良県産「吉野杉」を使用した暖かみと清潔感のある店舗です。テーブルは樹齢150年生吉野杉を、椅子は圧縮強化した杉材を、壁は安全安心な準不燃杉材を使用しています。

【この件についてのお問合せ先】

■報道関係お問い合わせ先:

社長室 コーポレートコミュニケーションチーム 菅原 TEL:043-212-6477

■お客さまからのお問い合わせ先:

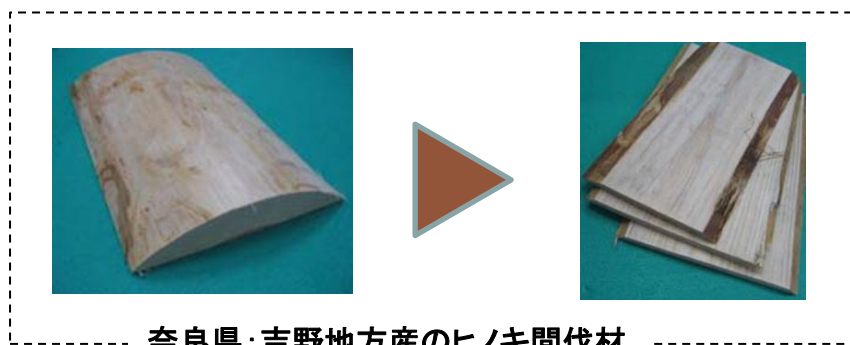
お客さまサービスコールセンター フリーダイヤル:0120-865-132



《奈良県:吉野地方産のヒノキ間伐材を利用した取り組み》

ミニストップは、林野庁が進めている「木づかい運動」に賛同し、奈良県:吉野地方産のヒノキ間伐材を利用した『5円の木づかい箸』(1膳用の割り箸)を2006年より販売しています。

お客さまに「あなたの5円でいっしょに森を育てませんか」と投げかけることで、お客さまとともに「日本国内の森林の育成および、地球温暖化防止」に向けた環境活動を推進しております。



奈良県:吉野地方産のヒノキ間伐材



《林野庁》

木づかい運動

我が国の森林資源は、人工林を中心に充実しつつありますが、木材自給率は依然2割と低い水準です。国産材が利用されないことが、間伐の遅れなど、森林が有する多様な公益的機能の発揮に悪影響を及ぼしています。また、地球温暖化対策として、二酸化炭素を長期にわたって吸収・固定する木材の利用が注目されています。

このような状況を踏まえ、木材、とりわけ国産材利用の意義を広め、実需の拡大につなげていくため、平成17年度から国産材利用に関しての普及啓発活動を強化し、国民運動として「木づかい運動」を行っています。

※「木づかい」とは、暮らしに木材の製品をどんどん取り入れて木材を利用することにより森を育てるエコ活動です。木材が利用され、その収益が林業生産活動に還元されることにより、「植える」、「育てる」、「収穫する」、「上手に使う」というサイクルが維持され、適正な整備や保全を続けながら、CO2をたっぷり吸収する元気な森をつくります。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/kidukai/undo.html>

※ 多くの活動に支えられ、我が国の木材自給率は平成26年(2014年)に30%台に回復しています。